

新入児学校生活支援ボランティア

1 支援体制の概容

- 新入児が一日も早く学校生活に慣れ、安心して学習に励むことができるよう小学校生活のスタートを支援します。
- 入学式の翌日から4月下旬の約1ヶ月、午前7時半から10時10分まで、各学級1名計5学級の支援にあたります。

2 主な支援内容

- 朝の準備（靴や傘、ランドセルや学習用具などの片付けの支援や見届け）



- 学習習慣の支援（話の聞き方や用具の使い方の支援）
- 休憩時間の見守り（トイレの使い方、安全な過ごし方、廊下歩行などの支援）
- 担任への協力（教室移動や保健室への付添いなど）

3 支援活動の実際

- 入学式の翌日。玄関で不安そうに立ち止まっている子どもがいます。靴箱の位置、教室までの移動もはっきり覚えていないのでしょうか。「おはよう。」「何組かな。」「教室はこっちよ。」と声を掛けると、ホッとした表情になります。



- 傘の片付け一つをとっても、たたみ方や巻き方・傘棚の確認・置き方等々、新入児童はたくさんの課題を抱えています。
- 教室では、不安そうな子、先生に聞きたいことがあっても言い出せずにいる子、活動の手が止まっている子などを見付けて声掛けをしています。そんな時、「分からないことは先生や友達に聞いてみたらどうかな。」などと、最終的には自信を持って自分でできるような支援を心掛けています。



- 頑張っていること、できるようになったことを、すかさずほめています。入学当初の不安一杯の子どもたちが、少しでも楽しい学校生活ができることを願っています。
- 入学直後の子どもたちを指導される担任の先生方は、本当に大変です。個人差の大きいこの時期、一人一人に少しでも多く気配り目配りができるよう心掛けています。

4 成果と課題

- 個々への関わりが増え、きめ細かな支援ができます。
- 新入児が学校生活に早く慣れ、5月以降の学校生活や学習活動に落ち着いて取り組んでいます。(学級担任の感想)
- 参観日には、支援の状況を公開し、保護者の安心・信頼につながっています。
- 毎年、支援スタッフの確保には苦労しますが、校区を越えての協力も得られ、助かっています。

この取組が始まって6年目になります。新入児や保護者の皆さんの不安解消の一助になるとともに、スタッフ自身が、子どもたちから大きな元気と喜びをもらっています。このような支援ボランティアが一年でも長く続けられることを切に願っています。